
ながら勉強会 A (文献講読)

精神分析的な理解と介入を習得するにあたり、

1. セミナーや文献講読を通して、心のメカニズムや心の発達論、技法論を学ぶ。
2. 事例に関してスーパービジョンを受ける。
3. 仲間を作る／研修グループに所属する。

ことが臨床家の足場と自信を作っていくと私は考えています。

そこで、当室で個人スーパービジョンを受けている方・精神分析を学びたい方を対象にして、定期的な「文献講読会」と「事例検討会」を開催することにしました。ZOOMを使い、夜の時間帯に開催することで、お忙しい皆様が学びやすくしています。

1を通して、3の基盤づくりに役立てていただけたらと思います。ここが皆様の大切な「居場所」となりますように願っています。

2020年3月吉日
ながら心理相談室 主宰・臨床心理士 堀 恵子

実施内容

ファシリテーター：堀 恵子（臨床心理士、公認心理師、精神分析学会認定精神分析的な心理療法士）

2020年5月～2021年3月 ZOOMを使いますので、自宅で受講できます。

全10回 第1木曜日 21時～22時半（2020年5月7日～3月4日）+ オフ会（年度末開催予定）

4名以上にて開催。実施の決定は、4月17日（月）までにお伝えします。

回	日時	内容
第1回	5月7日	自己紹介、第1章 「序論：群盲象を評す」
第2回	6月4日	第2章 「命の始まり：受精から誕生まで」
第3回	7月2日	第3章 「関係性の中に生まれてくる」
第4回	8月6日	第4章 「共感、自己、そして他者のこころ」
第5回	10月1日	第5章 「アタッチメント」
第6回	11月5日	第6章 「生物学と脳」
第7回	12月3日	第7章 「言語、言葉、そして象徴」
第8回	2月4日	第8章 「記憶：自分が何者で何を期待するのかについて学ぶ」
第9回	3月4日	第9章 「遊び：楽しみ、象徴化、練習、そしてふざけること」
第10回	未定	オフ会

指定文献と形式

2020年度の文献：『子どものこころの発達を支えるもの アタッチメントと神経科学、そして精神分析の
出会うところ』 誠信書房 グレイアム・ミュージック著 鵜飼奈津子監訳

形式：

指定された文献箇所を読んで参加する。

指定討論者が話題提供を行う（文献内で気になったところやわからないところを提示する）。

自由に討論する。

参加条件および参加料金

参加条件：当室でスーパービジョンを受けている方・精神分析を学びたい方。

学習意欲のある方に参加していただきたく、7割以上参加を求めます。

料金：

スーパーバイジー（月2回以上） 年間1万円

スーパーバイジー（月2回未満）と外部参加者 年間2万円

※本料金で、ながら勉強会B（事例検討）にも参加していただけます（1つでも2つでも参加料金は同じです）。

申込方法

メールのタイトルに「ながら勉強会：氏名」と書き、本文に、参加したい勉強会の名称、氏名、所属、携帯電話番号、メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込みください。

申込先：ながら心理相談室 メール keiko.h@nagarashinri.com FAX 058-295-6703

申込期限：2020年4月10日（金） 開催決定は、4月17日（金）までにお知らせします。

参考文献

以下の文献はクライン派精神分析に関するものですが、初心者にも読みやすく、ぜひご自分でも読んでいただきたいものです。ご参照ください。

『臨床現場に生かすクライン派精神分析』 岩崎学術出版社 I・ザルツバーガー・ウィッテンバーグ著
平井正三監訳

『子どもの精神分析的な心理療法の基本』 誠信書房 鵜飼奈津子著

タビストック 子どもの心と発達シリーズ『子どもを理解する<0-1歳>』『子どもを理解する<2-3歳>』
『特別なニーズを持つ子どもを理解する』 岩崎学術出版 平井正三、武藤誠監訳

『こどものこころのアセスメント』 岩崎学術出版 M.ラスティン/E.カグリアート編 木部則雄監訳

『現代クライン派入門』 岩崎学術出版 カタリーナ・ブロンスタイン編 福本修・平井正三監訳

『母子臨床の精神力動』 岩崎学術出版 ジョーン・ラファエル・レフ編 木部則雄監訳

『児童青年心理療法ハンドブック』 創元社 モニカ・ラニャード編著 平井正三他監訳